



清流小学校だより

～7月号～

令和5年7月18日

振り返りは成長のチャンス

校長 鹿熊 康成

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今学期は、コロナ禍での行動制限が解除され、学校行事や授業における活動形態が本来の形に戻ってきたことにより、以前よりも子供たちの活動が活発になり、元気にはずむ声が校舎いっぱいに響き渡るようになりました。

コロナ禍での全校集会は体育館での「三密」（密閉・密集・密接）を避けるために、一部の学年が教室でリモート参加するといったハイブリッド型で実施していましたが、今学期から本来の全校参集型で実施しています。全校児童が直接顔を合わせて参加することによって、同じ時間に同じ場所で感じたことが実感を伴って共有することができます。また、司会や発表者の言葉や表情、動作が明瞭に伝わり、全校に一体感と臨場感をもたらします。どの子供もゲームや委員会発表、全校歌唱に積極的に参加し、満面の笑みを浮かべていました。合唱曲「気球に乗ってどこまでも」を歌った5月の全校歌唱では、全校児童と教職員が体を左右に揺らしながら声高らかに歌う姿を見て、私は鳥肌が立つくらい深い感動を覚えました。さらに、授業においてもペアやグループで向かい合って意見交流をしたり、円になって学級討議をしたりするなど、学習の目的に応じた多様な学習形態が可能になりました。自分の考えを友達との対話を通して深めたり、課題解決に生かしたりするなど、主体的で対話的な学びへの進展が強く感じられます。今後も、「子供たち一人一人が輝き、豊かな学びと笑顔あふれる学校」を目指して、教育活動の充実に努めていきたいと思えます。

さて、1学期終了の節目に、子供たちは各学級において学級目標への取組や自分の学習・生活について「振り返り」を行います。「振り返り」をすることは、目標に向かって取り組んだことやその結果を単に想起するだけでなく、取組の成果や課題を確認したり、「あの時、どうしていたらよかったのか」など思考を深めたりすることになり、学びに向かう力を育むことにつながります。成長できたところは更に伸ばしてほしいと思えます。また、課題となったところは、改善につながる具体的な取組や努力の仕方等について考えることで、次から見通しをもって取り組むことができるようになり、同じような状況に出会った時に、これまでよりも適切に対応がとれるようになります。そのように考えると、「振り返り」は成長のチャンスだと言えます。ご家庭でもぜひ、お子様と一緒に今学期を振り返っていただきたいと思えます。お子様が努力したことや少しでも成長できたことは大いに褒めて、課題が残ったところは今後の具体的な取組や努力の仕方についてお子様が自己決定できるように考えを引き出していただけたらと思えます。きっとお子様の成長の大きなチャンスになると思えます。

いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがスタートします。今学期の「振り返り」を生かした夏休みの生活が、2学期からの成長を促進させる大きな原動力となりますことを願っています。



全校でゲームやクイズを楽しんだよ 6/21 (水) 縦割り班ウォークラリー集会

1～6年生までが一緒になった縦割り班で、様々なゲームに挑戦する「縦割り班ウォークラリー集会」が行われました。今年は、新しいゲームコーナーを交え、グラウンドや体育館で行いました。集会委員会が企画し、6年生がリーダーとなって活動しました。異学年でふれあう様子は、とてもなごやかで、みんなうれしそうでした。楽しいウォークラリー集会となりました。



避難訓練(火災) 7/4 (火)

火災を想定した避難訓練が行われました。緊急放送を聞き、速やかに安全に全校児童がグラウンドに避難しました。「おさない、かけださない、しゃべらない、もどらない」の大切さを再確認しました。



ラグビー教室 7/7 (金)

3年生を対象に、ラグビー教室が行われました。埼玉パナソニックワイルドナイツの選手からパスを上手にするポイントを教わりました。練習したり質問したりする中でプロの選手のすごさを感じながら、とても楽しい時間を過ごしました。



～1年生の取組より～

入学して早3か月。この間、平仮名、数字、足し算、引き算、朝顔のお世話、水泳学習…と、挙げればきりがなく、たくさんの新しい学習や活動を経験しました。まずは、ランドセルを背負い、毎日登校した子供たちに拍手です。

1年生の学習のキーワードは「仲良し」です。友達と、先生と、学校と、生き物と、仲良くなるためにはどうしたらよいらろうと考え、学びを進めます。学校探検では、特別教室で見つけたものを絵に描いたり、友達に紹介したりして、学校や支えてくださる先生、上級生に対する親しみの気持ちをもつことができました。

今後も多くの「人、もの、こと」と関わり合いながら学校生活を送れるよう、一日一日を大切にしていきたいです。

